

街なかで聞いた30人の「声」

| 「声」を聞いた人 | 好きな菓子は? その理由は? どこで買う? |
|---------------------|--------------------------------|
| 主婦のS・Sさん(60)=中央区 | 粒あんもなか。食感が好き |
| 主婦のH・Yさん(60)=中央区 | ようかん。甘いものはすべて好き |
| 高校生の男子Sさん(16)=中央区 | 朝鮮あめ。月1回は食べる |
| 男性T・Kさん(60)=北区 | 塩味のあらが好き |
| 看護師の林田宏美さん(54)=中央区 | せんべい。洋菓子ではトプスのケーキ |
| 美容師の松下陵平さん(25)=中央区 | もなか。「和」なところがいい。特に山鹿にあるもなかが好き |
| 大学生の浦雄輝さん(22)=中央区 | みたらし団子。スーパーやコンビニで買う |
| 接客業の男性W・Sさん(22)=北区 | 抹茶味が好き。上通にある「あまみや」の常連だ |
| 社員の30代女性K・Nさん | カステラ。食感と食べ応えがあるところがいい |
| 営業職の男性Sさん(43)=上益城郡 | 強いて言えばしょうゆせんべい。自分では買わない |
| 看護師の女性H・Dさん(22)=南区 | みたらし団子。団子はないが、街なかのスイスに買いに行く |
| パートの女性Sさん(77)=北区 | まんじゅう。各地の物産館で買う |
| 女性中村さん(80)=西区 | まんじゅう。贈り物として百貨店で買う |
| 女性杉本さん(80)=西区 | 大福。あんこが好きだから |
| 大学4年のA・Sさん(21)=菊陽町 | ぼた餅。あんこがはいっているものなら何でもいい。 |
| サービス業のK・Nさん(22)=東区 | もなか。親がよく買ってくる |
| 幸都さん(70)=中央区 | しょうがせんべい。知人にお土産として持つて行く |
| 大学1年の丸尾直矢さん(18)=東区 | 団子。串に刺してあって食べやすいから |
| 大学1年の松崎千尋さん(19)=北区 | パフェ。福岡・天神で食べたパフェがおいしかった |
| 社員のM・Hさん(18)=中央区 | スターバックスのマンゴーケーキがおいしかった |
| 大学2年の吉尾雄作さん(19)=東区 | マカロン。彼女や母親によく買ってあげる |
| 大学2年の西山嵩人さん(20)=中央区 | バタークッキー。自分で作れるようになった |
| 社員のM・Sさん(40)=東区 | ケーキやシュークリーム。自分で作ることもある |
| 大学1年の古田嶋士さん(18)=中央区 | プリン。カラメルは上に載っていないとダメ |
| 上田圭介さん(32)=中央区 | ケーキ店のプリン。定期的に通っている |
| 僧侶のK・Mさん(26)=宇土市 | ケーキやチョコレート。食べなくなったときに買う |
| 社員の50代男性S・Sさん=東区 | ケーキやチョコレート。知人の誕生日に買うぐらい |
| 病院勤務の上田円美さん(39)=南区 | チーズケーキ。おいしいから |
| 高校3年のT・Tさん(18)=南区 | チョコチップクッキー。子どものころから買ってもらっていたから |
| 公務員の女性S・Nさん(45)=合志市 | プリン。母がコーヒーゼリーやプリンを作ってくれていたから |



新市街にあるSCB放送局の学生たちが街なかでさまざまな「声」を集める「声Labo」。今回は食欲の秋にち

なんで「あなたは和菓子派? 洋菓子派?」というテーマで声を聞いてみました。

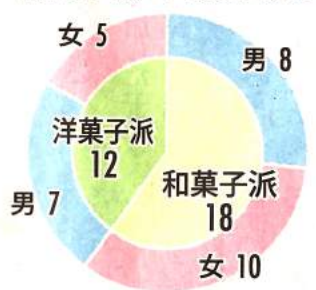
あなたは和菓子派? 洋菓子派?



練りきり、まんじゅう、ケーキ…。あなたは「和菓子派」ですか? それとも「洋菓子派」

30人中18人と過半数を制したのは「和菓子派」だった。「あんこが入っているものなら何でも」という大学4年の女性A・Sさん(21)は菊陽町。その中でもぼた餅が好き。西区から街に来た中村さん(80)と杉本さん(80)の女性2人もあんこ好き。まんじゅうや大福をよく食べるという。「昔は自宅で作っていたが、今は買って食べるようになった」と杉本さん。栄養講習会で「菓子は1日200g以内」と聞いてきたばかりの主婦のS・Sさん(60)は中央区。H・Yさん(60)は同区。いずれも和菓子派。S・Sさんは粒あんもなかが好きで、皮のパリパリ感とあんこのツブツブ感がいいという。H・Yさんは「和菓子は体に良さそうだから」と話す。パートの女性Sさん(77)は北区。各地の物産館でよくまんじゅうを買う。「それぞれの土地の味がある。食べてみると味に感動したり、懐かしかったりする」。和菓子派にはあんこ好きが多いのかも。

和菓子派? 洋菓子派?



「洋菓子派」はケーキ好きとプリン好きが二分している。甘いものが好きじゃなくても和菓子派にはなれるようだ。みたらし団子好きの看護師の女性H・Dさん(22)は南区。Hさんは「おばあちゃんがよく買ってき

てくれるので、妹と2人でよく食べる。日本茶とよく合う点がいい」。カステラ好きの社員の30代女性K・Nさんも小学3年の時、おやつで食べて以来好きになったという。「食感と食べごたえがある」。甘くない和菓子も人気。北区の男性T・Kさん(60)は塩味が利いたあらがが好き。「羽衣あられ」なしには自分の人生は語れない」と言っただけで、子どものころから食べ続けている。幸都さん(70)は中央区。はいせんべいが好き。おいしいうがせんべいが好き。おいしいせんべいは、知り合いにお土産として持つて行くという。せんべいが好きと答えた看護師の林田宏美さん(54)は同区。洋菓子のケーキを「自分へのご褒美」として買う。カロリーは気になるが、「お土産として家族や友人にも買っていき、みんなを巻き込んで食べてます」と笑った。

あんこ支持多数 / 妻のご機嫌取り / 母に倣い手作り

SCB放送局取材班から
今回、「大福やおはぎが好物」という声が多く、日本のお菓子はやはりあんこなんだと感じました。私はケーキが好きな洋菓子派。今は就職が決まった自分へのご褒美に、大好きなケーキを思いっきり食べたい。(福村海)

まずはケーキ好き。「クリームが好きで、毎日のように食べる」という社員の女性M・Sさん(40)は東区。秋は栗芋味のケーキやシュークリームやモンブランが食べたい。専門店でも買うが、コンビニスイーツも侮れないという。社員の50代男性S・Sさん(45)も同区。同区もケーキ好き。以前は「100円ケーキ」があったので、おやつで買うことも多かった。今は種類も多いが値段も高いのであまり買わなくなった。

一方、プリン好きは…。公務員の女性S・Nさん(45)は合志市。は「気軽に食べたいときにはプッチンプリン」。せいたく気分時は、1個数百円する少し高めのを食べるという。「昔は母がコーヒーゼリーやプリンを手作りしてくれていた。それがきっかけで好きになった」と振り返った。中央区の上田圭介さん(32)は「ケーキ店のプリンが好き。妻にプレゼントすることもあった。記念日だけでなく、定期的にスイーツを買ってご機嫌取りをしている」と打ち明ける。

社員のM・Hさん(18)は中央区。は「口の中でのどける感じがいい」とキャラメルが好きだそう。大学2年の西山嵩人さん(20)は同区。はバタークッキーが好き。「母の手作りクッキーがきっかけで、今では自分で作れるようになった」と笑った。

(今回の担当は曹我優妃、福村海、早水湧一朗、松田一郎、上田裕輝)

◇SCB放送局学生取材班 新市街にある崇城大学SCB放送局スタジオで活動している複数の県内大学の学生がメンバーです